



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

## 名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル  
 ■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統  
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

## 第1146回

2015年8月18日(火) 晴 第6回

～ 会員増強・拡大月間 ～

齊 唱 それでこそロータリー  
 出 席 会員 55名 (出席率算入人数 44名)  
 出席 35名 出席率 79.55%  
 前々回補填率 93.48% (7月28日分)

## 会長あいさつ

会長 鈴木 清詞さん

会長挨拶に先立ちまして、国際ロータリーより屬ゆみ子さんに会員増強への御礼のピンが届いておりますので、お渡ししたいと思います。これは日下智重子さんの入会のご紹介をされたとの事で、昨年度もいただいていると思います。おめでとうございます。



皆さま、長いお盆が終わり、会社への出勤が始まった頃だと思います。本日はロータリーの話をしたいと思います。我々は毎回奉仕の理想として歌を歌っておりますが、「奉仕の理想」といってもピンとはきません。理想の奉仕とは何かと考えた時に、私の考えとしては自分が意識をしていない間に社会奉仕をしている、意識をしないままにというのが一番の理想なのではないかと思います。それも、頑張っているけれども報われない人、或いは自分の意志に反して不幸な境遇にある人などに対して、何かしてあげることが出来る。これが理想的な社会奉仕なのではないかと思います。

そういう意味では、ここに集まっているロータリアンというのは、経済的・社会的にも多少のゆとりがあり、尚且つ社会の為に個人として何かしたいけれども、個人では寄付をするのはなかなかやりにくいという状況の中でRCに入会しています。RCに入会した時点で、既に社会奉仕のメンバーの一員になっているのではないかと思います。

当クラブでも毎年、社会奉仕委員会から養護施設に15年～20年近くずっと色々な援助を続けていると思います。私はやはり社会奉仕というのは相手の顔が見えるという事で、相手の意味は人と考えます。ですから、記念事業で市に寄付をしたり、記念塔を建てたり、ベンチを作ったりというのは、これはちょっと違うのではないかと思います。やはり、本

当に頑張っているけれども報われない人達に手を差し伸べられる。それが個人の意識ではなくて組織として既にそういうものが出来上がっている。だからRCに入会した時点で社会奉仕活動をしている一員になっている。これがまさに私の考える理想の社会奉仕であり、ロータリーとして行われています。

国際ロータリーではポリオの撲滅であるとか、或いはアフリカや東南アジアで井戸を掘る、学校を建設するなど大きな事もありますし、我々のように近くの養護施設に、金額としては非常に少ないと思いますが、毎年子供達が卒院する時に時計を贈っています。これはおそらく彼らにとって思い出になる出来事だろうと思います。そういった意味で、個人が見返りを求めず、自分達もあまり意識しない中で、きちんと組織として或いはメンバーの一員として社会奉仕活動が出来ている、これが私はロータリーの良い所ではないかと思います。

## 幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 来週8月25日(火)の例会は「四間道レストラン MATSUURA」でゆったり例会を行いますので、宜しくお願い致します。
2. 次々回の例会は9月1日(火)の例会変更として、9月5日(土)に地区補助金事業があります。宜しくお願い致します。
3. 本日の出席袋に「職場例会のご案内」というのが入っていると思いますが、10月27日(火)に名古屋地方裁判所を見学する予定ですので、是非参加していただきたいと思います。

## ニコボックス

- ◆ 本日は、会員増強委員会卓話です。地区会員増強委員の出田真太郎さんから「会員増強について」の卓話をして頂きます、楽しみにしています。

小嵐 招啓さん 田中 一雄さん 高橋 司さん  
 伊藤 圭一さん 中村 勝さん 大平 明子さん  
 児島 徳和さん 新原 尚さん 川瀬 悟さん  
 三島多恵子さん 細井 俊男さん 川辺 清次さん  
 杉山 隆秀さん 鈴木 清詞さん 犬飼りさ枝さん  
 木村 猛さん 牧野 好弘さん 久米 伸治さん  
 三浦 隆さん 水野 俊男さん

- ◆ 早稲田実業ベスト4を祝して。 坂本 晃さん
- ◆ 先日、久しぶりにバーディーとりました(完璧でした) 出田真太郎さん

- ◆お盆中1日の休みだけでした。ありがたいよう  
な、さみしいような感じです。 高橋 司さん  
本日合計 23,000円 累計 155,000円

## 委員会報告

■社会奉仕委員会 委員長 鈴木 一博さん  
皆さま、こんばんは。先だって「緑区大好き  
230,000人プロジェクト」という事で、本クラブより  
協賛をしましたが、御礼状が来ております。その中  
で、緑区が230,000人から240,000人に人口が増えた  
とありました。人口が増えるのは非常に良い事だと  
思っております。本当にどうもありがとうございます。

## アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

## 会員増強委員会卓話

■会員増強について 地区会員増強委員 出田真太郎さん  
皆さま、こんばんは。昨年から地  
区会員増強委員会に向かせてい  
ただいている出田真太郎です。宜  
しくお願い致します。まず会員増強  
の現状を話させていただきます。  
「会員増強がクラブ活性化の源  
退会防止は火の用心活動から」と  
いうのは、会員増強委員会共通の  
データとして、これを基に話をする事になっており  
ます。



「退会防止、会員維持」これは皆さまが名古屋名  
南RCに参加されて会員になられているわけですが、  
折角入っていただいても楽しくないという理由で退  
会されては全く意味がないので、退会を避けていた  
だく事が一番です。今の会員の皆さまが、来年、再  
来年もずっとこのクラブにいていただく事が、一番  
大事な事です。

「各クラブに女性会員の増強」当クラブには女性  
会員の方が沢山いらっしゃいますが、未だにジェン  
ダーギャップと言いますか、女性会員は苦手だとい  
うクラブもありますので、女性の会員の方も積極的  
に参加していただくような方向で、ロータリー全体  
として動いています。

「若手会員の増強」これも当クラブは幅広く上は  
80歳を超える方から下は30代前半の方もいっし  
やるので、次の「クラブ会員の多様性」という事にも  
対応している素晴らしいクラブだと思います。

「ロータリーの知名度を上げる」という事なので  
すが、これは私の場合ですと、ロータリーなどは縁  
が無い、私のような者が背伸びをして参加してはい  
けないと思っていたので、ロータリーへの入会を勧  
誘された時は非常に嬉しかったと記憶しています。  
ロータリーというのは、そこにいるという事が一種  
のプライドというかステータスとなるべきものかな  
と思います。

「一緒に汗をかく」「一緒に遊ぶ」「一緒に学  
ぶ」というのは、折角入会したのに、いつも決ま  
った時間にやって来て食事をして帰って行くだけで

やはり面白くないので、ここに参加をしてそれなり  
の事を得ていただきたいという事です。

次に現状ですが、2760地区は全盛期では会員数が  
6,000人でした。今は2割減の4,800人です。日本全体  
で考えると、120,000人いたのが88,000人、世界では  
途上国が発展しているのもそれほどの変化はありま  
せん。人数が減るという事は予算が減るという事  
で、やれる事が減ってきますので、そういう意味で  
のデメリットがあります。4,800人がいいのかどう  
か、今の名古屋名南RCの人数がいいのかどうか皆さ  
まで考えていただきたいと思います。少なくとも  
人数が減るというのは、最低限予算的な事ではデメ  
リットとなります。

減少理由としましては、様々ありますが、折角入  
会したのに友達が来れない、こんなはずではなかつ  
たなど、知り合いや取引先に誘われて入会したけれ  
ども決まった時間にやって来て食事をして帰って行  
くだけでよく分からない、ロータリーとは何なのかと  
いう事は避けなければなりません。少なくともここ  
に来て、或いは他のロータリーの活動で色々楽しみ  
学んでいただく事が必要であると思っています。

課題として増強委員会は、ロータリーは単年度、  
会長・役員は1年で代わるので、それを何とか2年～3  
年と継続的なプログラムとして、会員増強の問題な  
どを設定できないかと考えています。基本的に増強  
と言うと、どうしても増やす方に目がいってしまいが  
ちですが、増強は「強」、各クラブが魅力を強めて  
いく事によって、その結果として会員の維持、或い  
は会員が増加するという方向を目指しております。  
特に3年未満の方、今年や昨年入会された方に来年も  
このクラブの魅力を感じていただいて、継続してい  
ただけたらと思っています。年会費や運営費、例  
会会場などある程度は仕方がないのですが、改善  
出来る事は改善して行ければと思っています。

「ロータリーの原点に学ぶ」という事なので  
すが、私は6年目なのでまだ原点というものが分か  
っておりません。ロータリーは楽しければ良いとい  
う方も多いと思いますが、私個人としてはもう少し  
ロータリーの理念をどこかで学ぶ機会をいただけれ  
ばと思っています。「RIテーマ 世界へのプレゼン  
トになる」という世界のロータリーが目指してい  
る所を常に意識しながら、会員が活動すれば増強に  
繋がるのではないかと考えております。

取り組みとしましては、日本のRCはどうしても昼  
の例会が多いので、最近の起業家の方は忙しく、昼  
の時間を割けないので、夜の例会の回を増やすとい  
う事も考える必要があります。先程から述べていま  
すように、決まった時間に来て食事をして帰るだけ  
では何の為にいるのか分からないという事で、同好  
会を充実させ仲間を見つけて楽しんでいただく。た  
まにはバーベキュー例会などを実践して、会員の皆  
さま、会員になろうかという方に魅力ある場を提  
供しようと取り組んでおります。

結論としましては、「会員増強に特効薬なし、日  
ごろの地道な活動が大切」。名古屋名南RCは本当  
に地道に活動をされていて、属さんのような方のご  
協力もあり、どんどん新しい方も入会されていま  
す。結局は皆さまの日ごろの地道な活動が大切であ  
ると。会員全員で増強するという事で、一番大事  
であるのが親睦です。名古屋名南RCや各クラブで親  
睦を図り、ここに来るのが楽しい、或いはここで学

が沢山あるという事で、結果として増強に繋がると  
思います。「いつもロータリーバッヂをつける」と  
ありますが、基本的には皆さまにはいつもバッヂを  
つけていただければと思っております。バッヂをつ  
けていると色々な所で声をかけられる機会もあるの  
で、それなりの仲間意識などに繋がると思います。

ここまでが増強委員会の考える所です。私なりに  
地区の増強委員会に参加させていただいて、増強と  
いうのが大事であると考えてのですが、何故増強が  
大切なのかと皆さまは考えておられると思いたす  
が、一番大切な事は名古屋名南RCが5年後10年後或  
いは100年後も存続しているかどうか、存続させたい  
かどうかという事です。

今、皆さまが毎週火曜日の夜に例会に参加され  
て、同じテーブル、同じ空間で色々な会話を楽しん  
でいると思いたすますが、増強するという事はこれ  
を続けたいかどうかという事です。今が楽しければ良  
いという事であれば、特に増強をする必要はないの  
ですが、どのような会でもいずれは亡くなるなどの何  
らかの理由で退会しなくてはならなくなり、1人ず  
つ人数が減ります。という事は誰かが入会しなけれ  
ば、この会は存続できなくなります。その為にはどう  
しても人数が必要です。

1人では出来ないの、常に皆さまに意識して  
いただいて、こんなに素晴らしい会であれば誰かを誘  
いたい、少なくとも自分が楽しいと感じているなら  
ば、減らさない為には1人は常にに入れておきたいと  
いうように思っていたきたいと思いたす。

最近のロータリーが増強と言う理由は、日本では  
会員数が最盛期60,000人であったのが48,000人にな  
ったので、これをどんどん増やさなくてはならないと  
言っています。それで色々なRCの方のお話を今回の  
為に勉強させていただいたのですが、1つ目は増強  
といっても増やす事ではなく会又はロータリーの魅  
力を増やす事により、結果として人数が増えるよう  
にしなくてはならないという事で、増強の一番大事  
な事は、各クラブの組織の評価であり、効果的なク  
ラブになる事だと仰っていました。2つ目は会員一  
人一人の資質、能力向上が会の魅力に繋がり、それ  
を外に発する事が出来ればロータリーが魅力的であ  
り、会員増強に繋がると言えます。

最後に繰り返しとなりますが、結果として会が発  
展し、会員一人一人が発展する事によって、会の人  
数が増えると言われていたす。そういう事から、  
今、会員が減少しているのは経済的な状況など色々  
な事があるとも思いたすますが、会の魅力が昔ほど  
ないのではないかと。当クラブは幸いにして会員数は  
増えていたすますが、全体としてロータリーの魅力  
が減っているのではないかとされています。

先日、会長と当クラブの増強委員の本多利郎さん  
に増強セミナーに参加していただきました。東南RC  
の伊藤秀雄さんがおっしゃるには、各クラブの状況  
次第ではあるのですが、増強をお願いして集めるの  
ではなく、これは多少語弊がありますがロータリー  
に入れてあげるといような気概で構えなさいとい  
うような事です。個人的にロータリーに誘われた時  
には嬉しかったと申しましたが、そのぐら  
いの気持ちで迎えらるような各クラブやロータリー  
全体であり続ける事が必要であると。先程会長が仰  
っていた毎年毎年知らない内に奉仕を続けているとい  
う事

であると思いたす。

私も入会して最初の2年位は誘われてここにや  
って来て、座って食事をし、色々な会にも参加は  
しているのですが、勉強不足な事もあるとよく分  
かりませんでした。4年目5年目位からロータリー  
の意味も分かってくるのですが、それをここ1~2  
年で入会した方達に感じていただいて、ロータリー  
というのは非常に意味のあるクラブであり、そこ  
に参加する事は名誉な事であると感じていただ  
くと共に、皆さまの言動で客観的に感じていただ  
ければそれが増強に繋がるとは思いたす。

個人的にはロータリーの活動の意味などなかなか  
感じる迄の時間が長かったので、今年入会された  
方などは諸先輩方に、奉仕とはどういう事ですか  
とどんどん聞いていただければ、説明していただ  
けると思いたす。ここに参加している事自体が社  
会に奉仕しているという事を肌で感じていただ  
ければ、この会は継続していかなくてはならない  
ので、誰かを誘いたい、誘わなければという事  
に自ずと繋がるとは思いたす。皆さま、この会  
に来る度に感じていただいて、増強に繋げて  
いただければと思いたす。宜しくお願  
い致します。

**第 1148 回例会 (9月5日) のご案内**  
地区補助金事業